

## 製品情報

### HA・CBエコ、HA・NEXTに機能性ホワイトなど ラインナップ充実です！

#### HA・CBエコ/ HGクリヤー、HGホワイト

○作業性、仕上性の向上に効果がある設計です。CBエコ専用ハードナーを使用します（配合比率5：1）HGホワイトは従来ホワイトより隠蔽性を向上させたハイソリッドタイプです。低希釈での塗装が可能で塗装回数も減らせます。

#### HA・CBエコ/ 遮熱ホワイト

○特殊遮熱顔料を使用した機能性ホワイトです。CBエコ専用ハードナーを使用します（配合比率5：1）

#### HA・NEXT/ ルーフ用クールホワイト

○特殊遮熱顔料を使用した機能性ホワイトです。マルチハードナーを使用します（配合比率5：1）

## 環境情報

### 6月1日よりリスクアセスメント実施義務化です！

労働安全衛生法の一部が改正され平成28年6月1日より「一定の有害性のある化学物質(640物質)についてのリスクアセスメント実施」が義務化となります。

#### ①リスクアセスメントとは？

リスク（危険）をアセスメント（評価・査定）すること。つまりリスクアセスメントとは、職場の潜在的な危険性又は有害性を見つけ出し（見積りし）、これを除去、低減するための手法ということになります。

今回の法改正では、「化学物質やその製剤の持つ危険性や有害性を特定し、それによる労働者への危険または健康障害を生じうるおそれの程度(リスク)を見積り、リスクの低減対策を検討すること」としています。

#### ②対象となる事業場は？

業種・事業規模にかかわらず、対象となる化学物質の製造・取り扱いを行うすべての事業場が対象となります。

#### ③対象となる化学物質は？

安全データシート(SDS)公布義務のある640物質です。

#### ④リスクアセスメント実施の流れ

Step1 化学物質などによる 危険性または有害性の特定

Step2 リスクの見積り

Step3 リスク低減措置の内容の検討

上記Step1～3までがリスクアセスメントとなります。さらに

Step4 リスク低減措置の実施

Step5 リスクアセスメント結果の労働者への周知

までが事業場には求められることとなります。

□リスクアセスメント実施のひとつの方法に「危険または健康障害を防止するための具体的な措置が労働安全衛生法関係法令の各条項に規定されている場合に、これらの規定を確認する」というものがあります。車体整備事業で最もかわりの深い塗装作業においては、従来よりの有機則また特化則に基づく措置をしっかりと実施し、その内容をすべての従業員に周知することが重要となってきます。

#### 《step2 リスクの見積り》の方法について

いくつかの方法がありますが、最も簡易なものが「コントロール・バンディング」を用いた方法です。

厚生労働省のホームページ「職場のあんぜんサイト」で、支援システムを提供しており、サイト上で必要な情報（主にSDSに記載の成分）を入力すると、リスクレベルと、それに応じた実施すべき対策と参考となる対策シートが得られます。

参照サイト [http://anzeninfo.mhlw.go.jp/ras/user/anzen/kag/ras\\_start.html](http://anzeninfo.mhlw.go.jp/ras/user/anzen/kag/ras_start.html)

□イサム アロークラブ会員の方へ

アローニュース2016年5月号にて上記リスクアセスメントについて特集を組んでおり、たいへん分かり易く解説されています。また付属のCD-ROMには製品SDSをはじめ、たくさんの情報が収録されておりますので是非ご活用ください。

#### 化学物質の危険性・有毒性の確認の方法

日頃お使いいただいている、塗料や溶剤、パテ、接着剤など対象化学物質を含むあらゆる製品には「安全データシート(SDS)」が製造メーカーで用意されており、危険性および有害性を確認することができます。

また製品のラベル面にも下記のような表示がありますので、危険性を把握できるようにになっています。（GHSラベル表記の一例）



左から「可燃性・引火性など」「急性毒性・皮膚刺激性など」「発がん性など」